

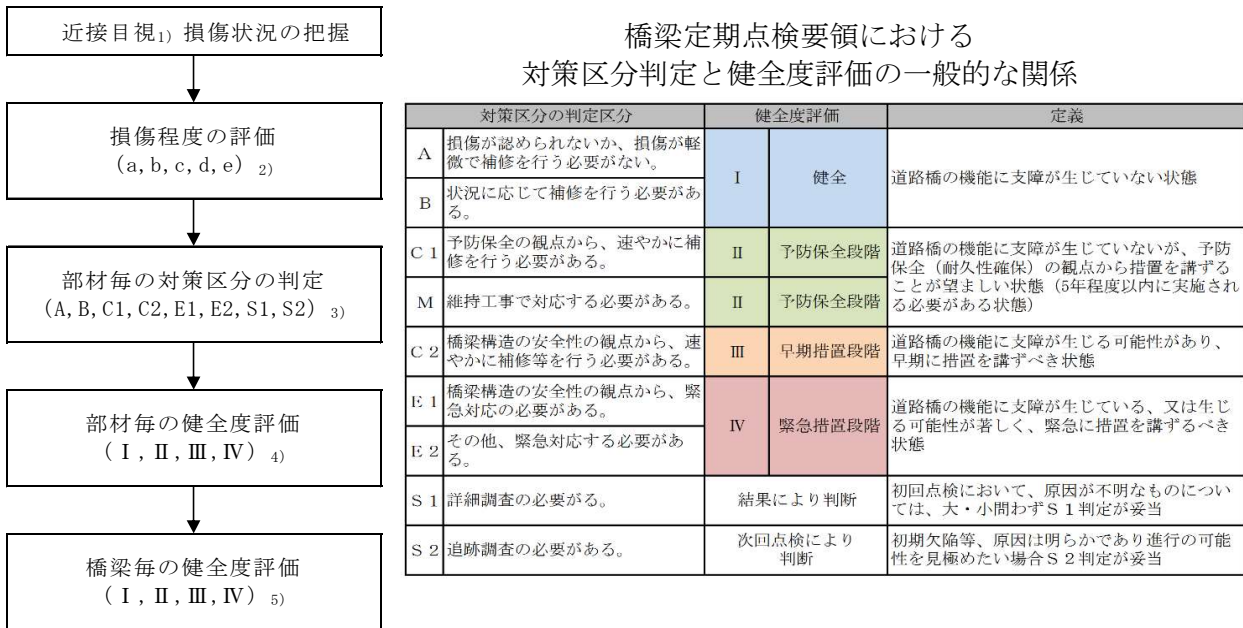
個別施設計画（橋梁）

●個別施設計画（橋梁）策定について

吉川市では橋の長寿命化及び、橋の修繕・架替えにかかわる費用の縮減を目的に、「吉川市橋梁長寿命化修繕計画」（以下「修繕計画」と示す）を平成25年度に策定した。

しかし、その翌年の平成26年度に道路橋定期点検要領が施行され、点検方法や評価方法等の変更により修繕計画では対応できない状況であった。そのため修繕計画を踏まえて、現況の要領を満たす「個別施設計画（橋梁）」を策定する。

●吉川市定期点検診断概要



- 1) 橋梁点検車等を使用し、近接目視する。
- 2) 損傷評価基準早見表により、損傷毎の評価を行う。
- 3) d=「C2」、e=「E1」ではない。損傷規模等及び対策区分判定と健全度評価の関係を踏まえ対策区分の判定を行う。
- 4) 右上表に基づき判定する。但し、下記の管理水準方針を踏まえ、さらに路線の重要性等を加味して最終的な健全度を決定する。
- 5) 主要部材の健全度評価を橋梁の健全度評価とする。

●吉川市の維持管理手法と管理水準および補修優先順位

修繕計画の基本方針として、管理手法別に管理水準を定めている。

「予防保全型」管理橋梁：予防的な修繕により橋を長寿命化させることを目的とする。

「事後保全型」管理橋梁：事後的な修繕により橋の安全性を確保しながら延命化を図ることを目的とする。

「架替型」管理橋梁：日常の安全性を確保しつつ寿命を迎えさせることを目的とする。

管理手法	管理水準
予防保全型	予防的な修繕により橋を長寿命化させることを目的とし、部材別健全度評価「II」ランク以上について修繕を検討する。
事後保全型	事後的な修繕により橋の安全性を確保しながら延命化を図ることを目的とし、部材別健全度評価「III」ランク以上について修繕を検討する。
架替型	日常の安全性を確保しつつ寿命を迎えさせることを目的とし、上部構造の部材別健全度評価「III」に至ると判断された段階で計画的に修繕を検討する。ただし、付属部材の、部材別健全度評価「IV」ランクについては、定期点検の際に抽出し、修繕を検討する。

補修優先順位について

架替型<事後保全型<予防保全型の順に重要度が高い橋梁である。橋梁毎の健全度評価と橋梁の重要度より、総合的に判断して橋梁補修優先順位を決定し、表-1「個別施設計画（橋梁）一覧」を更新する。

